

京橋駅周辺の動向とまちの将来像について

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 京橋駅周辺の動向 | P3～5 |
| 2 京橋駅周辺の立地特性 | P6～9 |
| 3 京橋駅周辺のまちの将来像 | P10～21 |
| 4 まちの骨格とまちづくりの方向性 | P22～28 |

1 京橋駅周辺の動向

上位計画における位置づけ

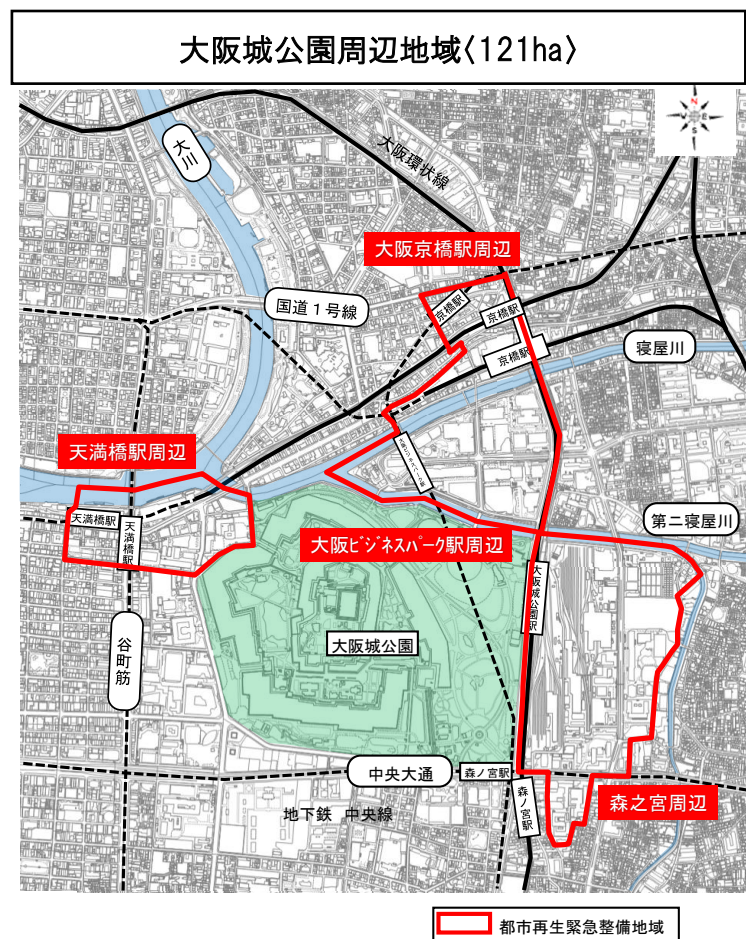
■都市再生緊急整備地域の指定・拡大の経緯

- ・平成24年1月20日指定 : (大阪ビジネスパーク駅周辺, 天満橋駅周辺)
- ・平成29年8月2日拡大 : (大阪京橋駅周辺)
- ・令和2年9月16日拡大 : (森之宮駅周辺)

【都市再生緊急整備地域の地域整備方針(内閣府)】

大阪京橋駅周辺

大阪都心部最大級のみどりがあり、国際観光拠点である大阪城公園に隣接した交通ターミナルとして、観光客など来訪者の誘致や滞在を促進する複合的な都市機能の集積を図り、関西広域の観光資源を繋ぐハブ拠点を形成



■【大阪のまちづくりグランドデザイン(大阪府・大阪市・堺市)】

戦略 01 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

〔令和4年12月策定〕

大阪城・周辺エリア <観光・文化・学術・産業の融合エリア>

大阪のシンボルであり、国際観光拠点でもあるみどり豊かな大阪城公園を中心に、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るとともに、大阪公立大学を先導役とした多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくりや、駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点の形成を推進し、観光・文化・学術・産業の融合エリアの形成をめざします。

- 大阪城公園の魅力を活かしたまちづくり(世界的観光拠点の形成)
- 難波宮跡の歴史魅力の向上
- 大阪城東部地区における大阪公立大学を先導役とした多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくり
- 天満橋、京橋及び大阪ビジネスパーク駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点形成



2023年12月時点



2 京橋駅周辺の立地特性

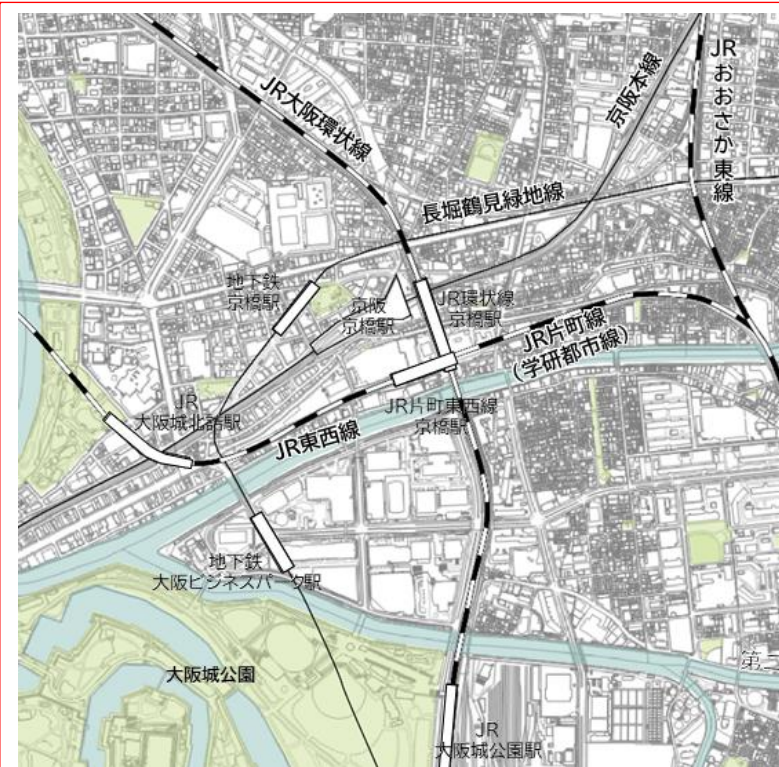
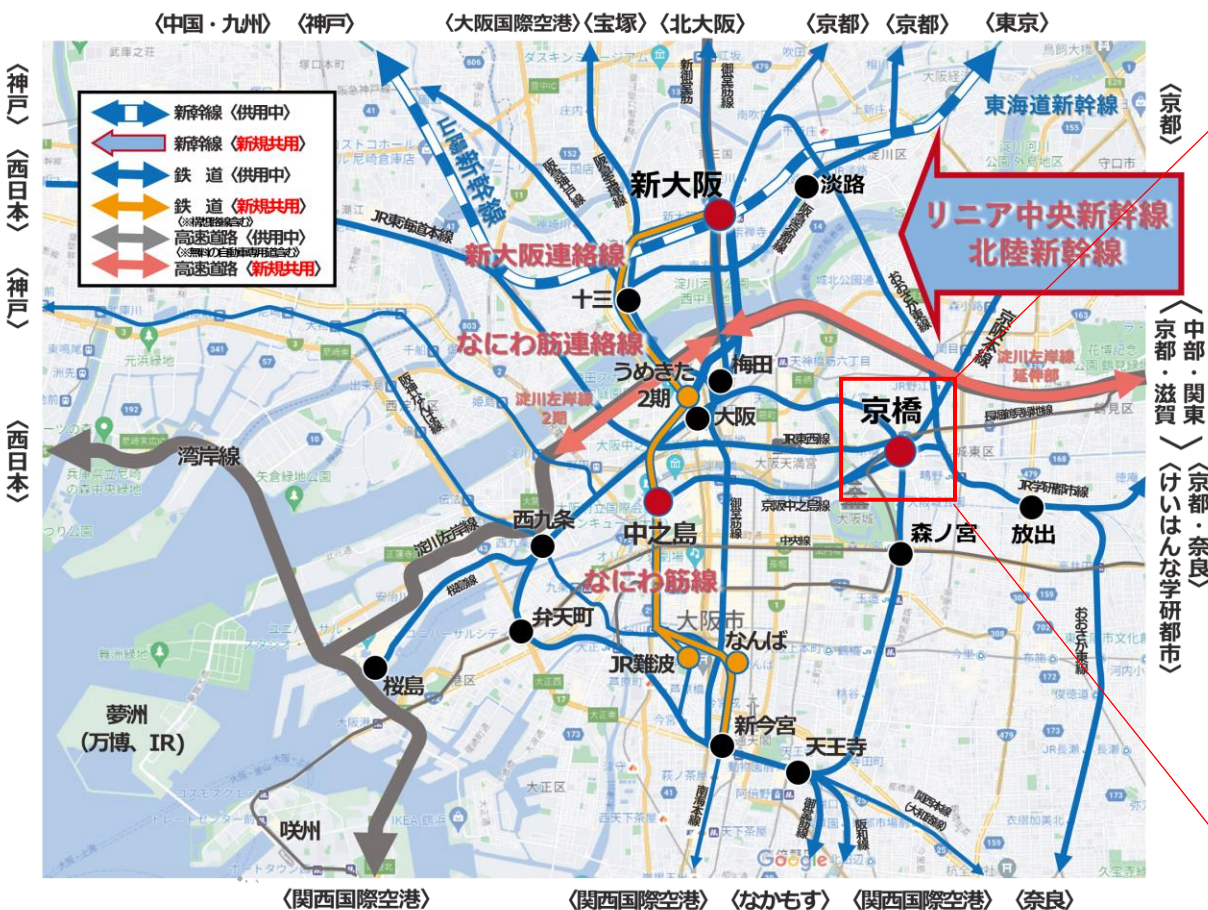
京橋駅周辺の立地特性

①大阪第4のターミナル・大阪ヒガシの玄関口

- ・ JR京橋駅(大阪環状線、片町・東西線)、京阪京橋駅(京阪本線)、大阪メトロ京橋駅(長堀鶴見緑地線)の鉄道3駅・4路線が乗り入れる大阪ヒガシの玄関口。交通結節点。
- ・ 大阪梅田、難波、天王寺に次ぐ大阪第4のターミナル。乗降客数は約50万人/日。

②関西広域のハブ機能

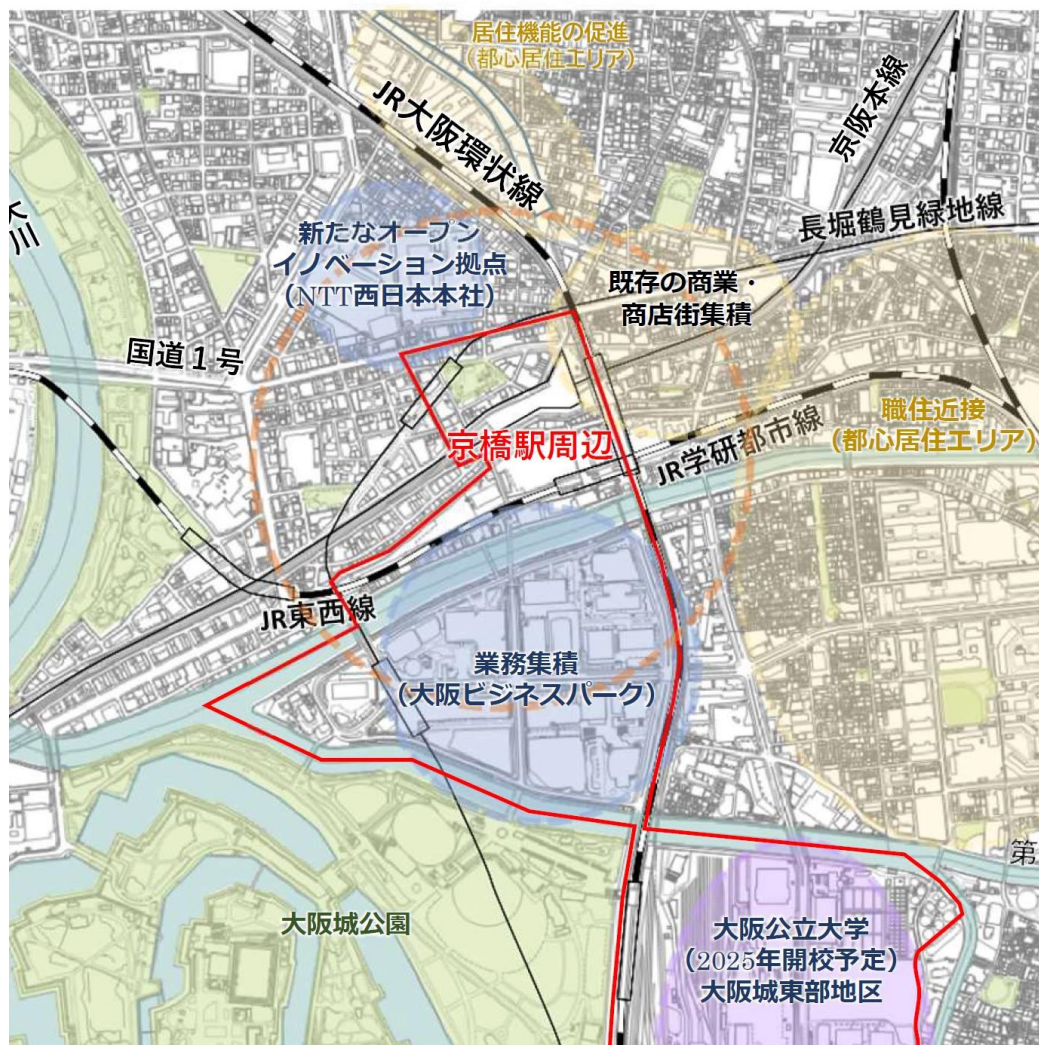
- ・ 国際観光拠点である「大阪城公園」に隣接し、関西の主要拠点「京都、神戸、奈良」につながり、関西のゲートウェイである「関西国際空港」、大阪都心部の拠点である「梅田・天王寺・中之島」と直結する関西広域のハブ機能。
- ・ 水辺空間があり水都大阪を象徴する河川空間やベイエリアと水上でつながる



京橋駅周辺の立地特性

■③商業・ビジネス・観光・教育研究・イノベーションなど多様な機能が融合するまち

- ・ 商業機能、NTT西日本本社や大阪ビジネスパーク等のビジネス機能の集積、大阪城公園の国際観光拠点機能、大阪公立大学の開設による教育研究・イノベーション機能など多様な機能が融合したまちを形成。
- ・ 多様な機能の連携により新たな交流やビジネス・イノベーション創出の可能性



京橋駅周辺

- ・ 環状線(西側)には京阪モール等の商業
- ・ 環状線(東側)には商店街
- ・ 駅前の広場、駅に近接した京橋公園
- ・ 職住が近接

新たなオープンイノベーション拠点

- ・ NTT西日本新本社の移転(2022年1月～)
- ・ オープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」の運用(2022年3月～)
- ・ 社会実装型オープンイノベーションによる事業共創を推進
- ・ 思いのある大企業や中小企業、スタートアップ、大学、自治体などが集まる

大阪ビジネスパーク(OBP)

- ・ 大阪屈指のビジネス地区、ICT系企業の集積
- ・ 大阪城が見える超高層オフィスビル群が建ち並び、ホテル、ホールなどの集客施設が立地
- ・ 昼間人口約10万人

大阪城公園

- ・ 大阪都心部最大級のみどりがある国際観光拠点
- ・ 大阪城公園来場者数(約986万人/年)
※大阪城公園パークマネジメント事業令和元年度事業報告書より

大阪公立大学

- ・ 都心メインキャンパスとして2025年に開設予定
- ・ 地域住民や企業との連携、イノベーションを生み出す「場」
- ・ 都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能



京橋駅周辺地域の特徴(2つの拠点性)

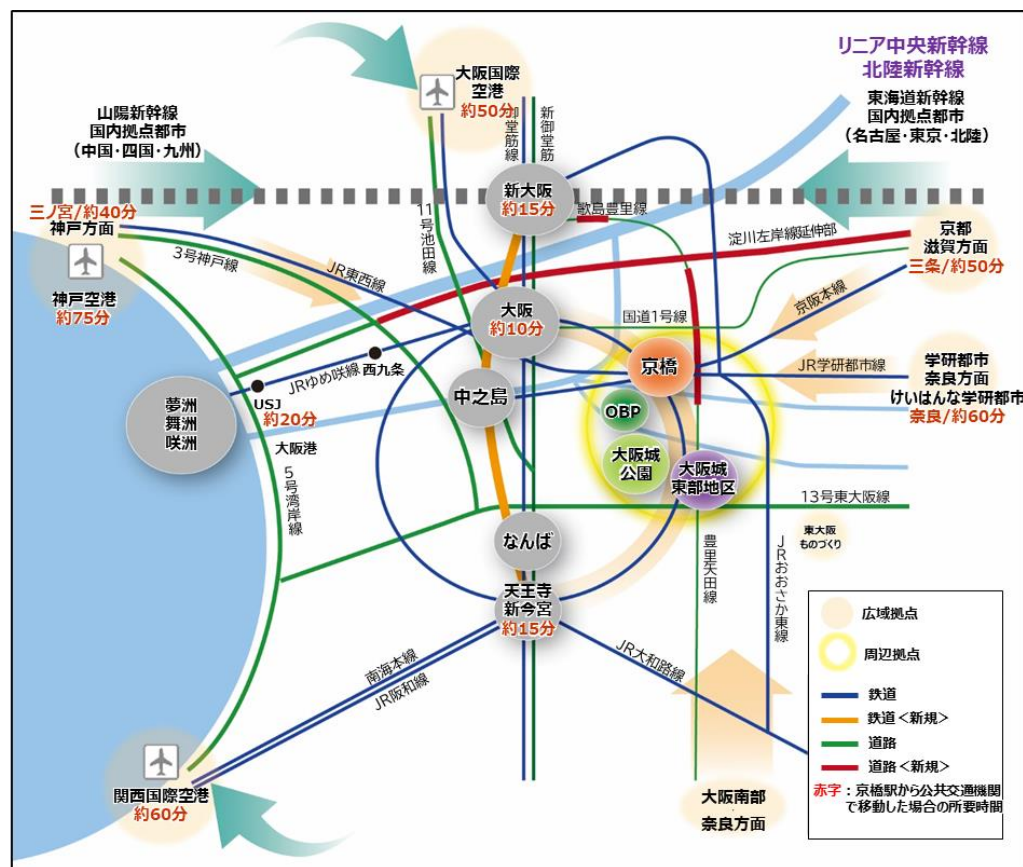
■京橋駅周辺の特徴(2つの拠点性)

①広域拠点とつながる拠点

鉄道・道路にて関西の主要拠点(京都、神戸、奈良)や学術・研究拠点(けいはんな学研都市等)、広域交通拠点(新大阪、関西国際空港・大阪国際空港等)とつながる拠点。

②周辺拠点とつながる拠点

最新技術をもったICT系企業が集積する「OBP」、大阪を代表する国際観光拠点「大阪城公園」、都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能の拠点となる「大阪公立大学(大阪城東部地区)」などの特徴ある周辺拠点とつながる拠点。



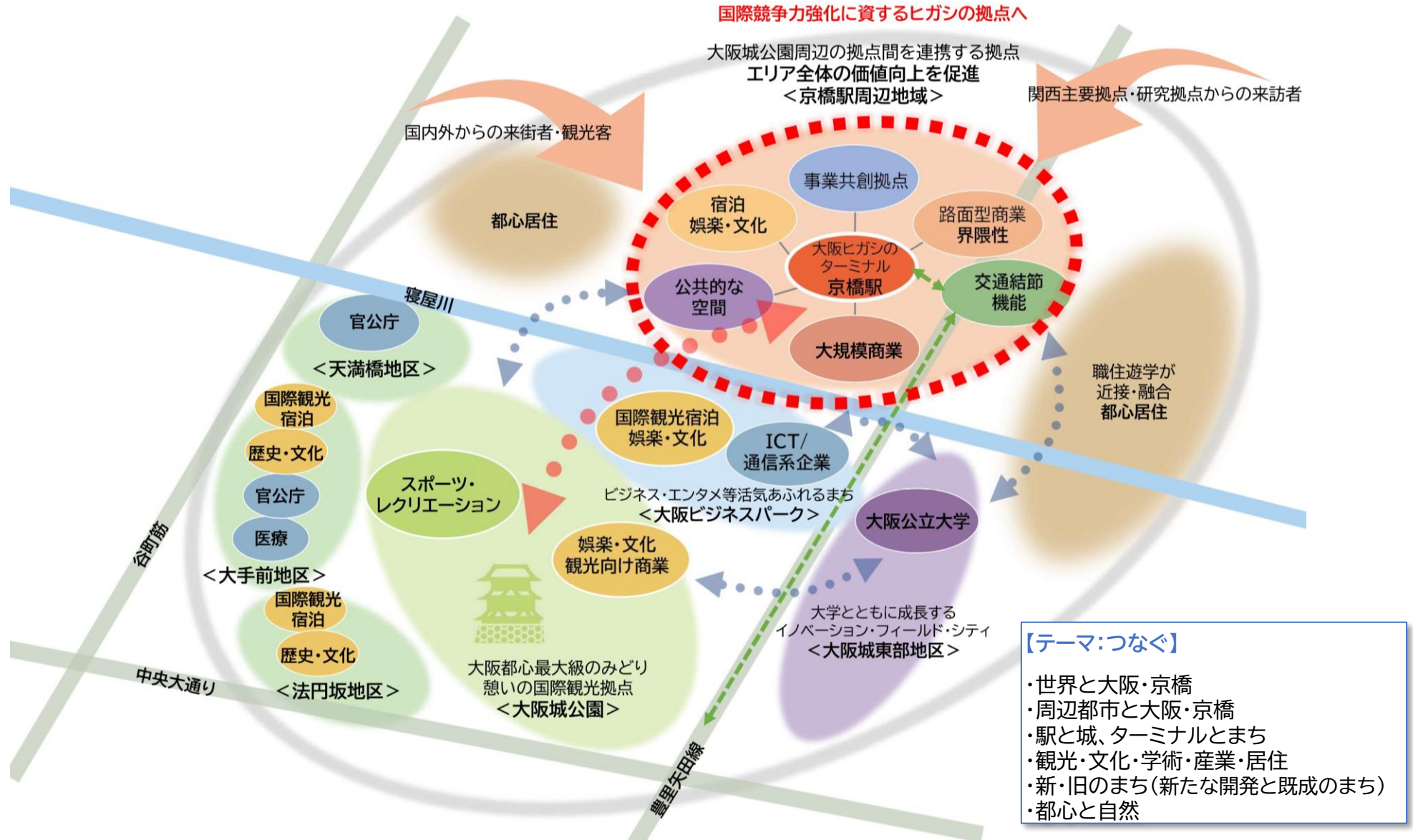
3 京橋駅周辺のまちの将来像

3-1 まちづくりのコンセプト

	キーワード
1. 京橋駅周辺の動向	駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点の形成 大阪城公園を中心に、にぎわい創出や回遊性向上 大阪都心部最大級のみどりがある大阪城公園 新たなオープンイノベーション施設(QUINTBRIDGE) ICT系企業の集積(OBP) 大阪公立大学の開設
2. 京橋駅周辺の立地特性	大阪の東の玄関口 大阪城公園に隣接したターミナル 駅前の広場、駅に近接した京橋公園 駅周辺等での再開発、駅周辺の商業・商店街 職住が近接 商業・ビジネス・観光・教育研究・イノベーションなどの多様な機能が融合するまち 新たな交流やビジネス・イノベーション創出の可能性 関西広域をつなぐハブ機能 関西の主要拠点(京都、神戸、奈良)とつながる 広域交通拠点(新大阪駅、関西国際空港・大阪国際空港)とつながる 周辺拠点(OBP、大阪城公園、大阪公立大学)とつながる 水辺空間とつながる

『Connective City 京橋』

～世界や関西広域拠点と大阪をつなぐ東の玄関口として、
ICT技術、新・旧のまち、大阪城・OBP・大阪城東部地区をつなぎ国際競争力強化に資するヒガシの拠点へ～



3-2 都市の国際競争力の強化

(2) 都市の国際競争力の強化

我が国の大都市がアジアにおけるヘッドクォーターとしての地位を維持し、我が国全体の経済成長を牽引するためには、世界のライバル都市との比較における「強み」（公共交通機関の利便性等）を更に伸ばしたうえで、環境配慮、外国人対応、イノベーション創出など「弱み」面での対策が重要である。

そのため、豊かな文化と地域資源を活かしつつ、国際ビジネス拠点の形成等に資する優良な民間都市開発プロジェクトを推進するとともに、気候変動への対応、生物多様性の確保等を図るため、環境をより重視した都市開発プロジェクトを拡大させる必要がある。

① 我が国経済を牽引する 優良な民間都市開発プロジェクトの推進

- 都市再生促進税制、民間都市開発推進機構の金融支援、都市再生特別地区制度等による規制緩和等を通じ、我が国経済を牽引する優良な民間都市開発プロジェクトを推進。



常盤橋プロジェクト（TOKYO TORCH）



東京ミッドタウン八重洲

② 国際ビジネス拠点を支える 都市基盤の整備の推進

- 国際競争拠点都市整備事業等により、国際的な経済活動の拠点を形成する上で必要な道路や鉄道施設、バスターミナル等の都市基盤の整備を重点的かつ集中的に支援。



品川駅・田町駅周辺地域

③ イノベーションの推進

- 国内外の企業や人々の交流、新ビジネスの創出など国際的なビジネス交流・スタートアップ拠点を形成。



虎ノ門ヒルズビジネスタワー内の
インキュベーション施設（ARCH）

- 大都市と地方都市との交流・連携により、イノベーション創出を図る。

【出典：国交省HP 令和6年度国土交通省予算概算要求概要より】

■イノベーションとは？

ヨーゼフ・シュンペーター(経済学者、1883-1950)
イノベーション理論を提唱



「イノベーションの本質は、新結合。」

【出典：Joseph Schumpeter ekonomialaria.jpg, CC 表示-継承 3.0
(<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>)

■INNOVATION DISTRICT

(※米国ブルッキングス研究所提唱。最先端の研究開発機能や新興企業、アクセラレーターが集まりイノベーションを生み出すエコシステムを持つ地区)

一考え方

- イノベーションを生み出すエリア「Innovation Districts」には、「**経済資産**」、「**ネットワーク資産**」、「**空間資産**」の3つの要素が必要とされる。
- “イノベーションは人が集まる場所で起こる”ことから、すべての要素が近接していて、人の密度が高く、**WALKABLE**で、活気あるプレイスメイキングが成されることが重要。また、単なる研究所だけではなく、アイデアや知識をすぐに形にして、マーケットに投入されるエコシステムをエリア内に持つ。
これにより、周辺の住民と多くの学生に就労の機会を与えるものでもある。

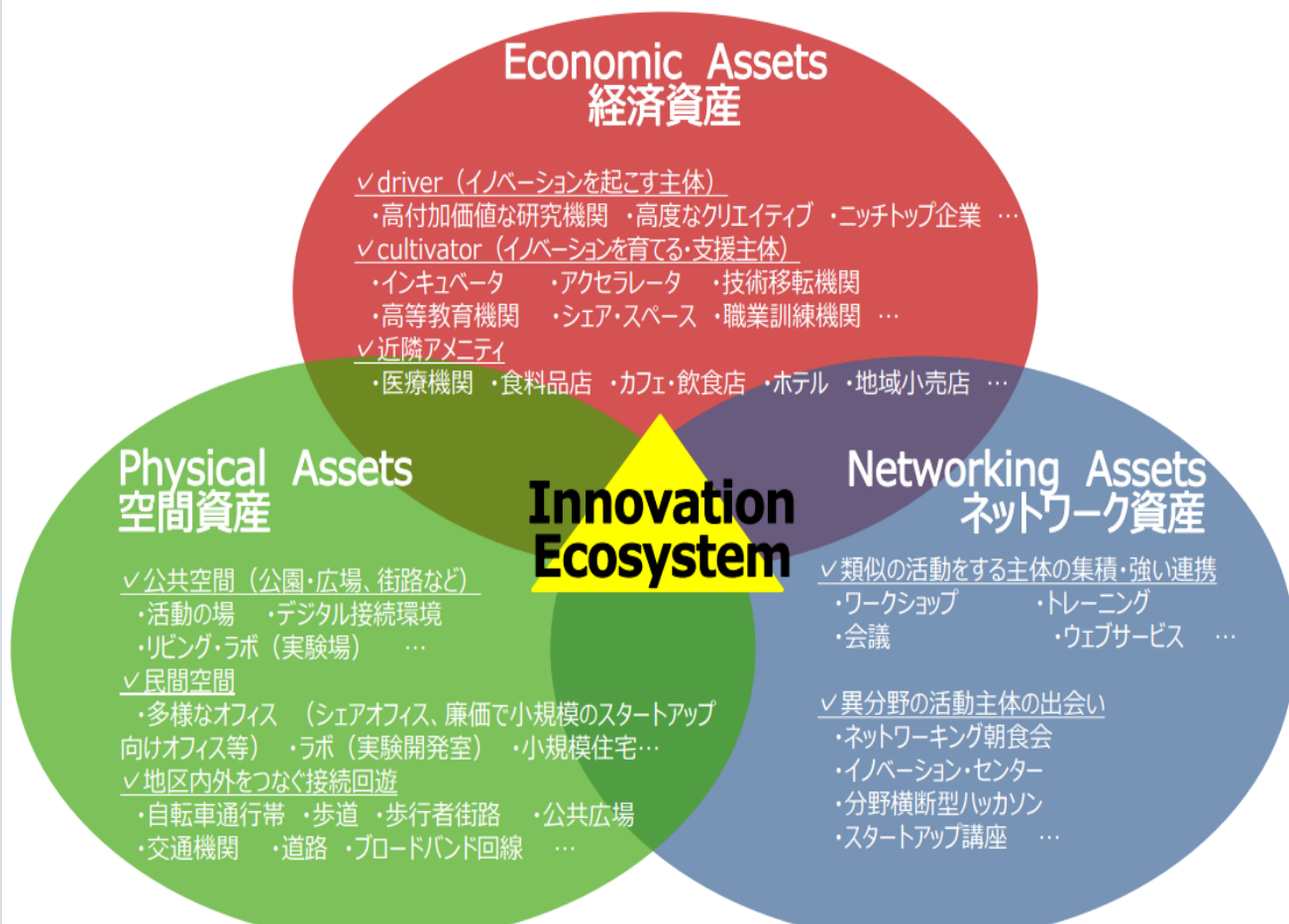
経済資産のイメージ



空間資産のイメージ



ネットワーク資産のイメージ



(出典) The Rise of Innovation Districts(Brookings Institution, 2014)に基づき国土交通省都市局作成

京橋駅周辺におけるイノベーションの素地

京橋駅周辺は、“INNOVATION DISTRICT”で提唱されている、3つの要素を一定有しており、イノベーションの素地がある。一方で足りない要素もある。

Innovation District が備える資産		京橋駅周辺地域	
Economic Assets 経済資産	1. Drivers(イノベーションを起こす主体) 高付加価値な研究機関、高度なクリエイティブ、ニッチトップ企業 先端技術・サービスを有するR&D、大企業、スタートアップ 等	・OBPに集積するICT関連の企業や海外企業・人材 ・オープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」に集まる人材 ・大阪公立大学の学生 ・京阪沿線企業や大学、けいはんな学研都市、東大阪のものづくり →各主体間連携の可能性 →さらなるスタートアップの集積が必要	 OBP
	2. Innovation Cultivators(支援主体) インキュベータ、アクセラレータ、技術移転機関、高等教育機関、シェア・スペース、職業訓練機関、イノベーションを醸成する機関 等	・オープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」 ・コワーキングスペース「OBPアカデミア」 ・大阪公立大学 等 →ビジネス・イノベーション創出の可能性	 QUINTBRIDGE
	3. Neighborhood-building amenities(近隣アメニティ) 医療機関、食料品店、カフェ・飲食店、ホテル、小売店 等	・京橋中央商店街、新京橋商店街等、特徴的でユニークな飲食店 ・京阪モール、コムズガーデンの飲食店街 ・京橋駅前やOBP内のカフェ、ホテル ・FULALIKYOBASHIの飲食・イベントスペース →外国人对応の機能が必要	 FULALIKYOBASHI
Physical Assets 空間資産	1. Physical assets in the public realm(公共空間) 活動の場、デジタル接続環境、リビング・ラボ(実験場)、公園・街路等のパブリックスペース、等	・京橋駅前の広場、京橋公園、大阪城公園、寝屋川の水辺沿い、OBPの公開空地等パブリックスペース →リビングラボ的な活用や実証実験のフィールドとしての活用の可能性	 京橋公園
	2. Physical assets in the private realm(民間空間) 多様なオフィス(シェアオフィス、廉価で小規模のスタートアップ向けオフィス等)、ラボ(実験開発室)、小規模住宅 等	・大阪市内のターミナル・駅と比較して、住宅家賃相場や地価公示価格が低いエリア ・OBP内に企業のラボ、OBPアカデミアが立地 ・職住が近接	 オープン5G LAB
	3. Physical assets that knit the district together and/or tie it to the broader metropolis(地区内外をつなぐ接続回廊) 自動車通行帯、歩道、歩行者街路、公共広場、交通機関、道路、ブロードバンド回線、公共交通からのアクセスしやすさ、自転車道、賑わいあるパブリックスペース、良好な通信環境 等	・大阪第4のターミナル京橋駅 ・大阪城京橋プロムナード ・京橋公園や京橋駅前に広場的な空間 →京橋・OBP・大阪城東部地区・大阪城公園のネットワーク強化が必要 →人が集う賑わいのある空間活用の可能性	 大阪城京橋プロムナード
Network Assets ネットワーク資産	1. Strong ties(類似の活動をする主体の集積・強い連携) ワークショップ、トレーニング、会議、ウェブサービス、技術者同士の意見交換の場、カンファレンス 等	・大阪ビジネスパーク協議会、QUINTBRIDGE、OBPアカデミア等 →団体間における連携の可能性	 OBP協議会の取組 https://co.hellokita.jp/projects/obp/
	2. Weak ties(異分野の活動主体の出会い) ネットワーキング朝食会、イノベーションセンター、分野横断型ハッカソン、スタートアップ講座 等	・QUINTBRIDGE、OBPアカデミア等でのイベント開催 ・FULALIKYOBASHIでの実証実験募集	 OBPアカデミア

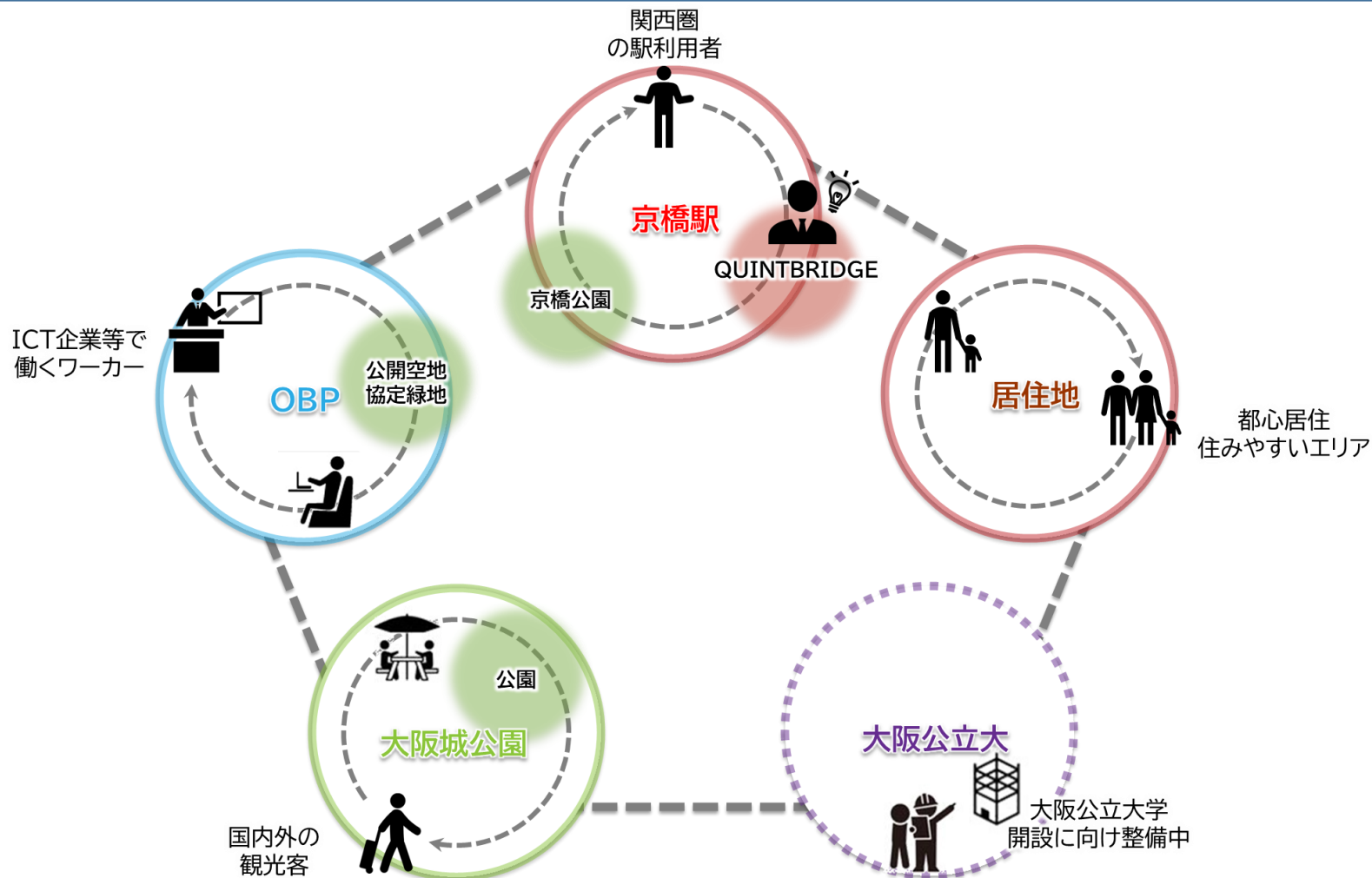
3-3 コンセプトの具体化イメージ

(人の活動に着目)まちづくりのコンセプト案の具体化案(イメージ)

京橋駅周辺には「多種多様な人材」「ICT企業の集積」等、イノベーション創出の素地はあるが、そのポテンシャルが最大限に発揮されていない。

- 京橋駅周辺には特徴的なエリアがあり、多種多様な世代、属性の人材が来訪・活動
- OBP内の企業のラボ、京橋駅北西エリアのオープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」等でイノベーション創出に向けた活動を展開
- 各エリアで一定の都市機能、交通施設等があり、エリア内で活動が完結する。

現状

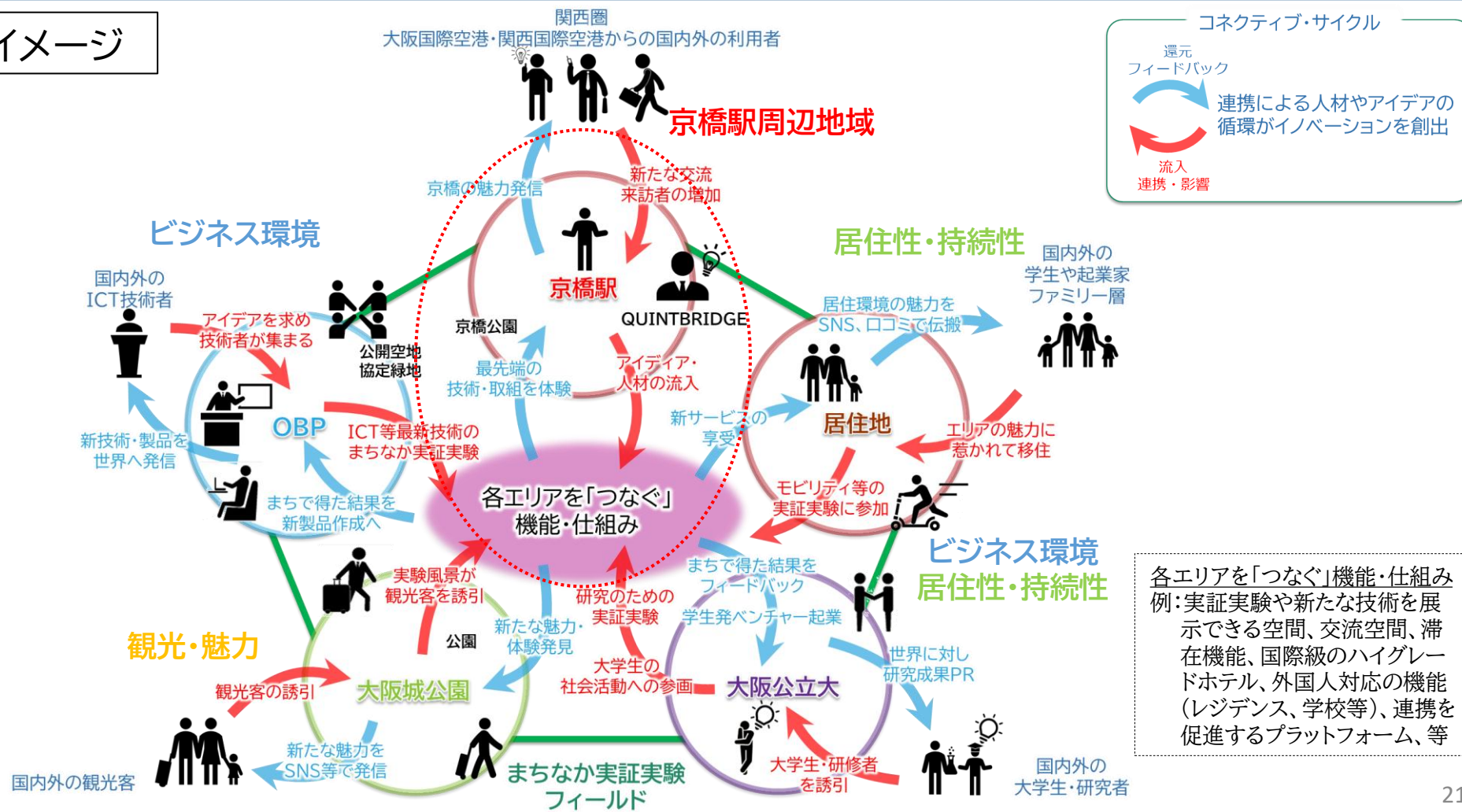


(人の活動に着目)まちづくりのコンセプト案の具体化案(イメージ)

特徴ある各エリアの人材・アイデアを京橋駅周辺のまちなかで「つなぐ」ことで、国内外から来訪者を集め、新たな価値を創造する循環をうみ、国際競争力の強化に資する拠点へ発展させていく。

- 各エリアや国内外からの人材・アイデアをまちなかに引き出し、パブリックスペースや各種施設等で受け止め、新たな人(知)と人(知)のつながりをうむ、新たな機能・仕組みが必要。これらを今後のまちづくりや民間都市開発の中で構築する必要がある。
- つながりから生まれたアイデアを各エリアに還元し、エリアの課題解決や魅力向上につなげ、更なる人(知)を呼び込む好循環を生み出す。

将来イメージ



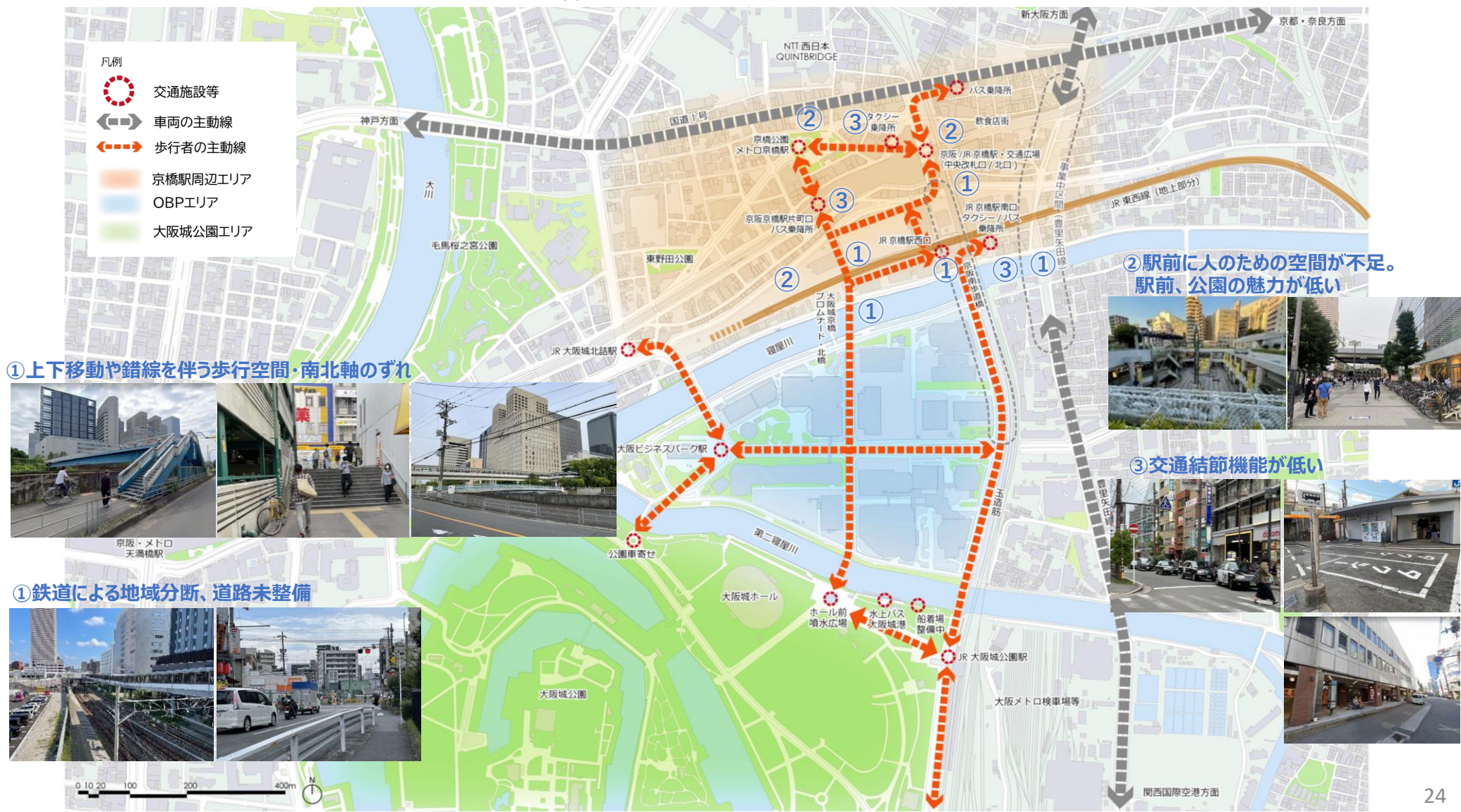
4 まちの骨格とまちづくりの方向性

4-1 まちの骨格

(都市空間に着目)まちづくりのコンセプト案の実現に向けたまちの骨格

■まちのネットワーク (現状)

- ・京阪/JR京橋駅の駅前広場からOBP、大阪城公園へ繋がる歩行者ネットワークが明快でない。
上下移動や錯綜を伴う歩行空間・軸のずれ、鉄道による地域分断、道路未整備によりエリア全体の回遊性が低い (①)
- ・駅前に人のための空間が不足。駅前、公園の魅力が低い (②)
- ・交通施設が各所に分散しており、交通結節機能が低い (③)

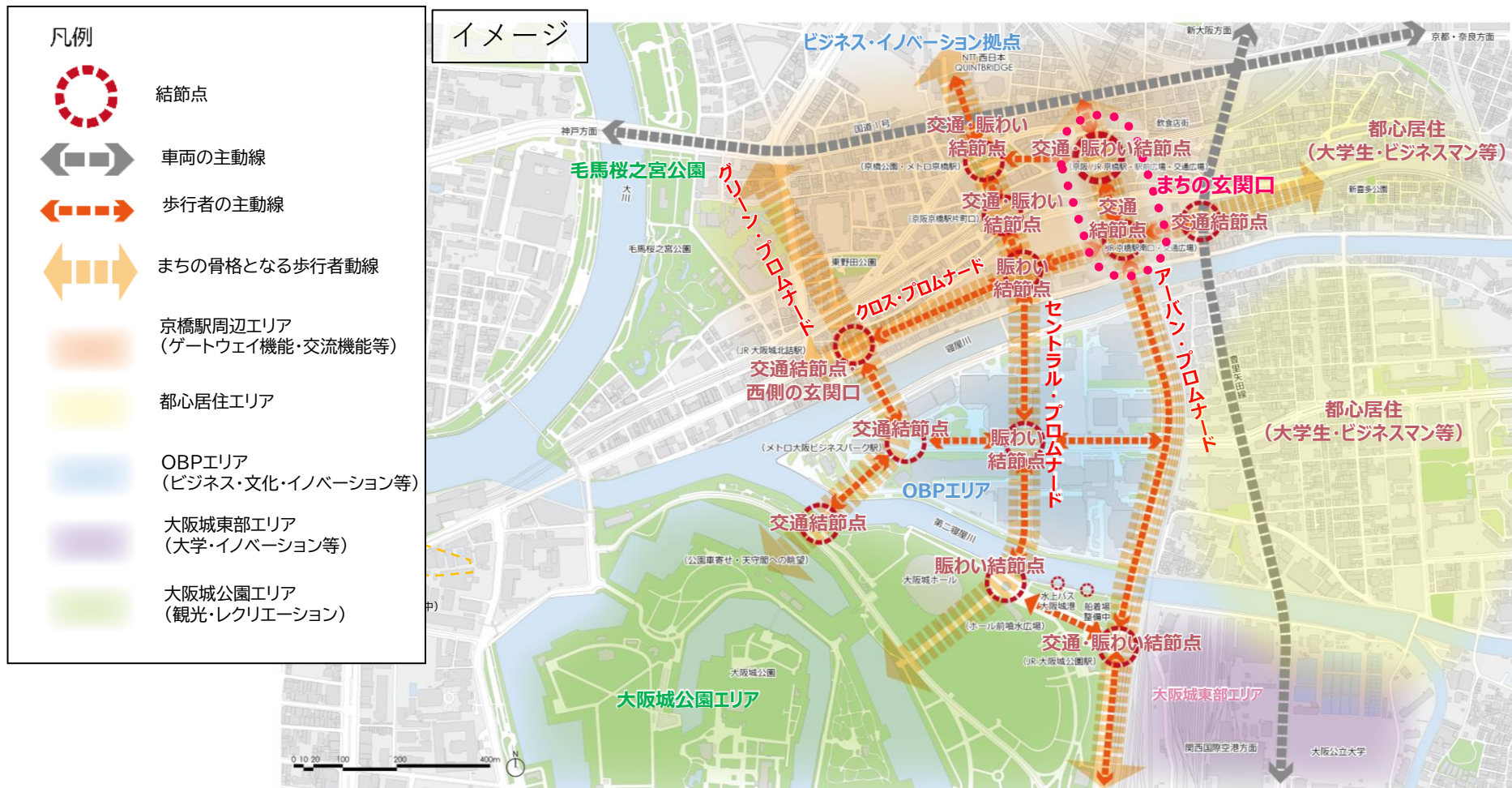


(都市空間に着目)まちづくりのコンセプト案の実現に向けたまちの骨格

■まちのネットワーク (将来)

○まちの骨格(4つのプロムナード) (イメージ)

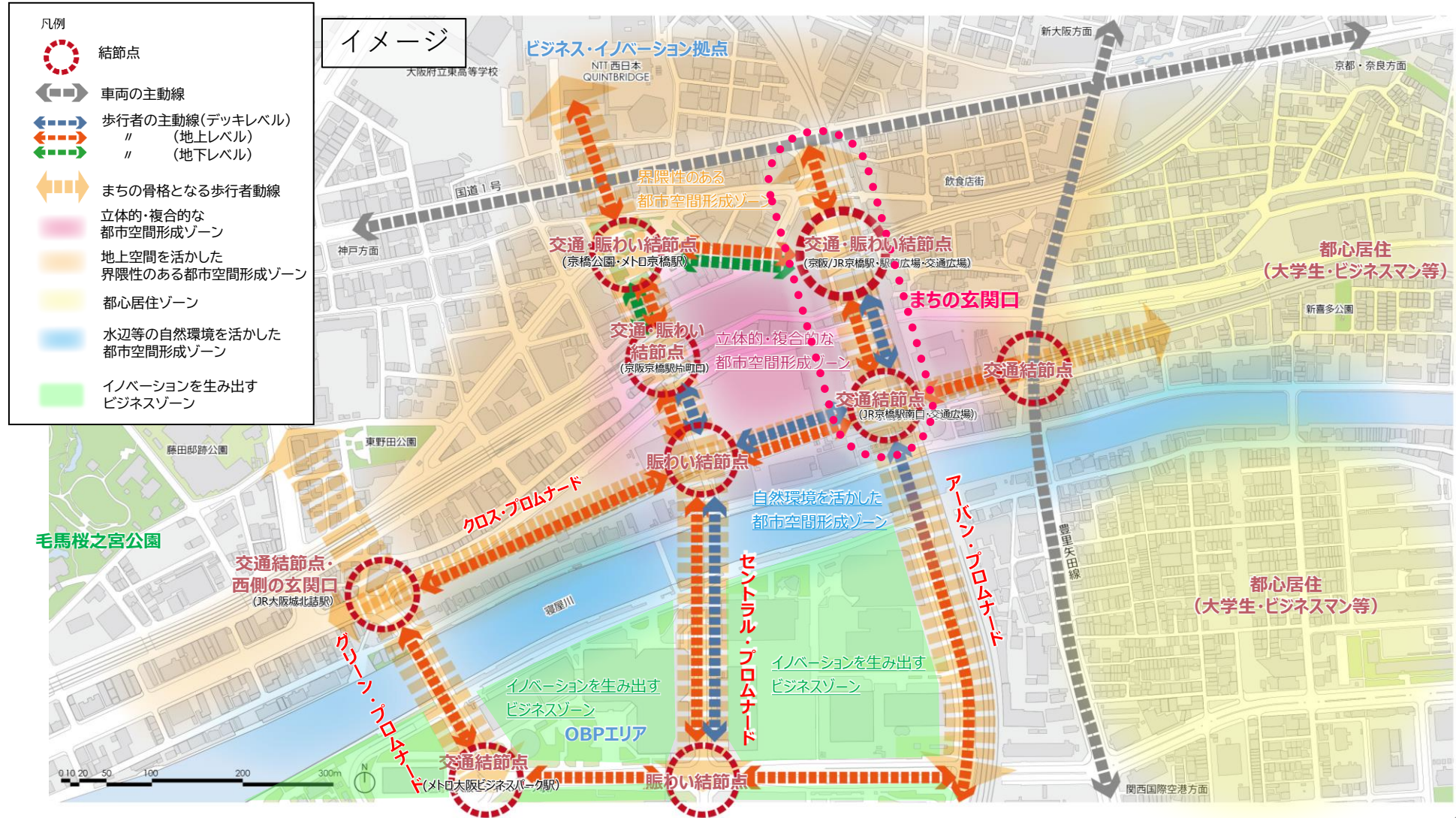
プロムナード名	めざすべき骨格
アーバン	まちの玄関口から広幅員の道路につながる交通・賑わい動線。新モビリティ等の多様な交通体験を展開
セントラル	京橋、OBP、大阪城公園の回遊性を促進し、観光・ビジネス・商業が融合した賑わいの動線
グリーン	大阪城公園・寝屋川のみずとみどりを体感できる心地よい動線
クロス	京橋駅周辺の東西をつなぐ賑わいと交流の動線



(都市空間に着目)まちづくりのコンセプト案の実現に向けたまちの骨格

■ まちの骨格と将来のゾーニングの考え方(イメージ)

- ： デッキネットワークや民間開発等を活かした立体的・複合的な都市空間形成をめざす。
- ： 地上レベルの動線を活かした界隈性のある都市空間形成をめざす。
- ： 水辺等の自然環境を活かした潤いある都市空間形成をめざす。



4-2 まちづくりの方向性

広域とのアクセス・結節性強化や
周辺拠点との機能面・空間面
でのつながり強化